

日本脊椎脊髄病学会 平成 27 年度第 3 回国際委員会 議事録

日 時 : 平成 27 年 10 月 22 日 (木) 午前 7 時 40 分 ~ 8 時 30 分

場 所 : ANA クラウンプラザホテル富山 4 階 白鷺 2

出席 : 松山幸弘担当理事、湯川泰紹委員長、大鳥精司委員、金山雅弘委員、根尾昌志委員、富士武史委員、矢吹省司委員、上井浩アドバイザー (日本大学)

欠席 : 岩崎幹季委員、川原範夫委員、田中雅人委員

1. English oral session について

2016 年学術集会より English oral session へ移行し Award を設定することとなった。
上井浩アドバイザーより 2016 年学術集会での対応について下記の報告があった

抄録応募数は全体で約 1400 題、そのうち English oral session への応募は 40 題程度だった。

第 1 日目と第 3 日目に、一日を通して英語セッションを設ける (スライド・発表とも英語)

英語セッションの主題は、脊椎感染、脊椎外傷とした。

NASS との combined session は 2016 年学術集会では予定していない

English oral session への海外からの参加者については学会参加費を無料とする方向で調整する

次年度以降も、引き続き、一日を通しての英語セッションの設定、英語セッションのテーマは脊椎感染・脊椎腫瘍・脊椎外傷・脊柱変形のうちから 2 つを選択、など 2016 年と同様の対応を国際委員会として依頼することとなった。また、NASS との combined session については状況を考慮しながら 2017 年以降の学術集会で導入するかどうか検討する。

2. 2016JSSR の招待医師について

アジアトラベリングフェロー関連については、下記に 5 名に決定した。

Dr. Kannna RM (Ganga Hospital、インド)

Dr. Brian Freeman (Royal Adelaide Hospital、オーストラリア)

Dr. Yu Bin-Sheng (深圳北京大学、中国)

Dr. Lee Kyu Yeol (Dong-A university, プサン、韓国) from June 2015 to May 2016

Dr. Young Qiu (南京大學、中国)

以下の国際委員会推薦・追加推薦の招待医師のうち、誰に依頼するかについては、学術集会事務局で検討中とのことであった。

国際委員会推薦 :

Dr. John M Rhee (Emory University、米国)

Dr. Stephen Lewis (Toronto Western Hospital、カナダ)

Dr. Khaled Kebaish (John Hopkins University、米国)
Dr. Michael Ruf (SRH-Klinikum Karlsbad-Langensteinbach、ドイツ)
Dr. Jeffery C Wang (USC Spine Center Los Angeles、米国) 参加不能

追加推薦：徳橋先生からの要望に応じて5名追加推薦(2015/8/6)

Dr. Jacob Buchowski, ワシントン大学 米国
Dr. Gregory Malham オーストラリア
Dr. Yohan Robinson (Uppsala, Sweden)
Dr. Michael Fehlings、カナダ
Dr. Justin S. Smith (University of Virginia) 米国

3. 2017 JSSR の招待医師

2017 年学術集会の招待医師としては、台湾の会長、韓国の会長及び Ki-Tack Kim (慶熙大学、韓国、2 回連続 KOA と重なり辞退) に依頼することとなった。

4. 台湾のトラベリングフェロー受け入れ(第1回)について

Dr Pao(45) 妻同伴、Dr Tsai(44)、2015/10/4(日)~10/17(土)の2週間で、前半を浜松医大・中部ろうさい病院で後半を岡山大学と関連病院で受け入れた。今回は1名妻同伴での参加があったが、フェロー間の交流・親睦が難しくなる、受け入れ側の準備などの問題があり、今後は妻同伴での参加は控えていただくことを要請することとなった。

5. NASS との提携

Spine Across the Sea での討議内容が松山担当理事より報告された。

- ・ JSSR-NASS traveling fellow program については、手術での手洗いは Academic institute では困難だが private institute では可能な施設がある、2016 年から5名程度は受け入れ可能である、NASS 側の医師は NASS が、JSSR 側の医師は JSSR が旅費等を負担する、との内容であった。これについて国際委員会で討議を行い、以下のような方針を確認した。

2017 年以降、アジアトラベリングフェローと合同で募集し、北米へ2名、アジアへ10名に振り分ける。旅費支給は2週間で30万円(現状と同じ)、4週で60万円程度とし、北米への希望者には4週の滞在が可能であることを募集の段階で明示していただく。

- ・ 2018 年 Spine Across the Sea は、7月の最終日曜日 welcome party から始まり木曜日まで、場所はカウアイ島の予定である。2018 年度の NASS 代表者は2016 年には決定し、JSSR に周知される。日本側は波呂先生の予定。最低1年前にはテーマやシンポジウムについて決定し、演者選定にあたる。
- ・ NASS summer meeting での JSSR との共同シンポジウム、JSSR 学術集会での NASS との combined session (前述) については、2017 年以降の検討事項となった。

6. その他

- ・ 今後、訪問先の新規開拓、English oral session の広報活動などを目的に、国際委員の海外視察を進める必要性が前回の委員会で確認されており、2017年1月初旬に湯川委員長と田中委員が中国国内の数施設を表敬訪問する予定である。
- ・ 海外の参加者から日本人による英語での教育研修講演を聞きたいとの要望があり、今後検討していくこととなった。

7. 次回委員会の日程

日本整形外科学会専門医試験期間中の2016年1月21日 15:00～開催予定。
それまでに必要があればメール審議を行う。